

## 政治学科

### 1. 教育研究上の目的

政治学科は、政治学・社会学の様々な科目を学ぶことを通じて、社会に対する深い洞察力と幅広い教養を備え、高い指導力と問題解決能力を持った人材を育成する。

### 2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

政治学科では、履修規定に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たした上で、下記の能力を備えていると判断した場合に、「学士（政治学）」の学位を授与します。

また、2年次から特別選抜（F T）コースに参加した学生が、3年次終了時点で所定の授業科目及び単位数を優秀な成績で修得し、下記の能力を備えていると判断した場合には、学則に従い、卒業者と認め、「学士（政治学）」の学位を授与します。

（知識・技能）

1. 社会に対する深い洞察力と幅広い教養を備えている。
2. 政治学・国際関係・社会学の学問内容及び方法を理解している。
3. 適切な方法で多角的に情報を収集し、分析することができる。
4. 論理的に議論を組み立て、適切な方法を用いて説得力ある形で提示できる。

（思考・判断・表現）

5. 広い視野で現代社会の諸現象・諸問題を把握・分析する高度な能力を身につけている。
6. 問題の解決方法を探求し続ける姿勢を身につけている。
7. 他者に対して自分の考えを分かりやすく的確に伝えるとともに、他者の考えを理解し、意思疎通を図ることができる。

（関心・意欲・態度）

8. 公共的な関心を持つ市民として社会に積極的に参加することができる。
9. 高い指導力をもって、諸問題の解決に寄与できる。
10. 異なる見解に対する寛容性を備えている。

### 3. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

政治学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた能力を修得させるために、以下のような内容、方法等に基づき、カリキュラムを体系的に編成します。

（教育内容）

1. 大学で学ぶに当たって必要な前提知識・能力を修得するための科目として、1年次向けに「政治学科基礎演習」「政治学科基礎講義」を配置する。（思考・判断・表現）
2. 政治学・社会学の基本を学ぶための「政治学科基礎科目」、基礎科目をより良く理解す

るための「政治学科選択科目」を配置し、広範な知識を身につけられるようにする。(知識・技能)

3. 2年次以降は、特別選抜（F T）コースの指定科目群を提供し、学生が高度な英語力を構築し、情報の収集・分析・表現力を磨くことを促す。(知識・技能／思考・判断・表現)
4. 3年次以降を対象として「専門演習」を設け、学部における総合的な訓練の機会を提供する。(関心・意欲・態度)
5. 幅広い教養と国際感覚を身につけ、現代社会の諸問題に対する広い視野を養成するため、人文科学・自然科学・社会科学の様々な分野や、外国語・情報処理・体育などを学ぶ、「総合基礎科目」を配置する。(知識・技能)
6. 学際的なものの見方を身につけるため、政治学科、経済学部、国際社会科学部の開講する科目を履修することができる。(関心・意欲・態度)

#### (教育方法)

1. C A P制を実施し、1年次から卒業年次まで、卒業のために修得が必要な科目の履修登録の上限を設け、それぞれの科目に十分な学修時間を確保できるようにする。
2. 学生の主体的学修を支援できるよう、アクティブ・ラーニング等の教授手法を積極的に取り入れる。
3. 少人数教育を演習、実習等で実施し、学生の能力・資質に応じた学修ができるようにする。
4. 準備学習（予習・復習）の内容と時間をシラバスに明示し、学生が授業の予習・復習や応用的活動を通じて自律的な学修ができるようにする。
5. 教員のオフィスアワーを設けることで、毎週特定の時間帯に、学生は自由に教員に授業内容の質問をすることができ、履修計画や就職相談など、様々な相談にきめ細かく応じる。
6. 特別選抜（F T）コースの開設により、特に意欲と能力の高い学生に最大限の機会を提供する。

#### (教育評価)

1. 政治学科のカリキュラムの評価は、卒業・進級判定、科目ナンバリング、G P Aの活用、在学生調査、シラバス記載内容等の実態把握に基づいて総合的に行う。
2. 学生個人の教育評価は、卒業要件単位数の充足等の評価、G P Aによる判定、社会と関わる諸活動の成果等の実態把握に基づいて総合的に行い、学修支援に生かす。

#### 4. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

政治学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 幅広い教養と専門知識を修得するための基盤となるよう、高等学校卒業相当の学力を有している。
2. 自分の考えを伝え、他者の考えを理解するための前提として、高等学校卒業相当の国語及び外国語等の知識を備えている。
3. 深い洞察力と論理的思考力を養うために、高等学校卒業相当の数学・地理歴史・公民等の知識を備えている。

(思考・判断・表現)

4. 物事を多面的に分析した上で、様々な意見を理解し、自らの考えにつき積極的に表現することができる。

(関心・意欲・態度)

5. 社会の諸活動・諸現象に関心を持ち、自分なりの問題意識をもって物事を主体的に分析するとともに、他者の考えを理解しようとする意欲・態度を有している。

以 上